

題材「チキチキバンバン」（第5時）

1 本時の学習計画 10時間中の第5時

(1) 学習のねらい

合奏曲を全体で合わせた際にズレが生じることやついていけないことを問題とした子どもたちが、今演奏している音を追うデジタル譜面を用いて演奏することを通して、自分や他のパートがどのような演奏をしているかに気づき、ズレを生じずに演奏することができる。

(2) 本時の学習材

パソコンソフトを用いた音追い譜面

- 前時までにチキチキバンバンを何度か全体で合わせている子どもたちは、自分たちの演奏における課題点を複数挙げており、その中にあった「ついていけない」「ずれてしまう」といった課題点の改善を目指しているだろう。その意識を捉えたところで、本学習材を提示する。
- 本学習材は、パソコンのソフトを用いて制作した、今どこを演奏しているのかを示す楽譜である。この楽譜に出会った子どもたちは、自分が演奏をする時にどこでついていけなくなってしまうのかに気がつき、そのズレを無くすように練習するだろう。同時に、他のパートがどのような動きをしているのかも視覚的に捉えることができ、結果全体的にまとまりのある演奏に近づくことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
----	------	-------------	----	-------

課題把握	1 前時までの活動を振り返り、問題点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 途中早くなるところがわからない。 他のパートの音が全然聞こえない。 入るところが難しい。 <p style="text-align: center;">----- 学習問題 -----</p> <p style="text-align: center;">全体合奏をするとずれてしまう、ついていけないといった問題を解決しよう</p>	5'	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に前回までに子どもたちが考えた問題点を提示する。 どうしてその問題点が生じるのか子どもたちの方から声が上がるようであれば、追加で書き留める。
展開	2 音を追うデジタル譜面を使って、メロディーや自分の音を意識しながら練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ画面が見えづらい。前に行つてもいい? カスタネットが聞こえづらい。 ちょっと動きを間違えていた。 ○ここはこの楽器と同じ動きをしていたのか。 	20'	<ul style="list-style-type: none"> 課題の確認をした後に、全体練習へ入る。 デジタル譜面と配布されているプリント譜面で音符の形が違うことに違和感を覚える子どもがいると考えられるため、学習材を提示した後に演奏すると同じになることを全体で確認する。 後方の子や端の子がテレビ画面を見られるように、テレビの位置や座る場所を工夫する。 子どもたちの様子に合わせて、メトロノーム機能のオンオフや各楽器の音量調節、テンポ調節を行う。 学習の進度に合わせて演奏補助を徐々に減らし、最終的には紙の譜面で合奏できる事を目標とする。
終末	3 楽器の片付けをした後に、本時の感想や今後の課題を振り返り、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> まだ少しずれてしまう。 みんながどこをやっているのかがわかった。 前よりも演奏があつってきた。 ○他の楽器の動きを感じながら演奏することができた。 ○デジタル譜面を使うと全体の音が合って、気持ち良かった。 ○今度は音を追わない紙の譜面でもついていけるようになりたいな。 	10'	<ul style="list-style-type: none"> メロディオンはケースにしまい、音楽室にあった楽器はもとの場所に戻してから、席に戻って振り返りの時間を取る。 本時全体合奏を行って気がついたこと、思ったことがないか問いかける。 <p style="text-align: center;">評価</p> <p>本時の全体合奏を通して前時より納得のいく演奏ができたか、自分や他の楽器がどのような動きをしているのか気づくことができたかを振り返りの発言・感想用紙からとらえる。</p>